

新潟歴史資料救済ネットワーク



○新潟地震60年・中越地震20年

新潟歴史資料救済ネットワークは、2004年10月の新潟県中越地震を契機に、大学・文書館・図書館・行政等の職員や学生・院生、市民のゆるやかなネットワークとして誕生しました。2024年はその中越地震から20年、また1964年の新潟地震から60年の節目の年を迎えました。そこで当ネットでは、新潟地震が発生した6月18日に近い6月23日（日）に新潟大学にて公開シンポジウムを、その前後の期間に新潟大学旭町学術展示館で企画展示を開催しました。

両企画を通じて、この20年間にできたこととできなかったこと、地域に歴史資料を残すことの意義と今後の課題がみえてきたとともに、すでに60年前の新潟地震の際から、様々な分野で今回の能登半島地震対応につながる営みが連続しているということを、実感することができました。

◀2005年5月雪融け後の旧山古志村民俗資料館搬出作業（原直史撮影）



▲記念シンポジウムポスター



▲展示会ポスター



▲雲洞庵文書のクリーニング作業（原直史撮影）



▲能登半島地震における家屋被害（一部損壊）（『防災クロスピュー：令和6年能登半島地震』防災科研2024）



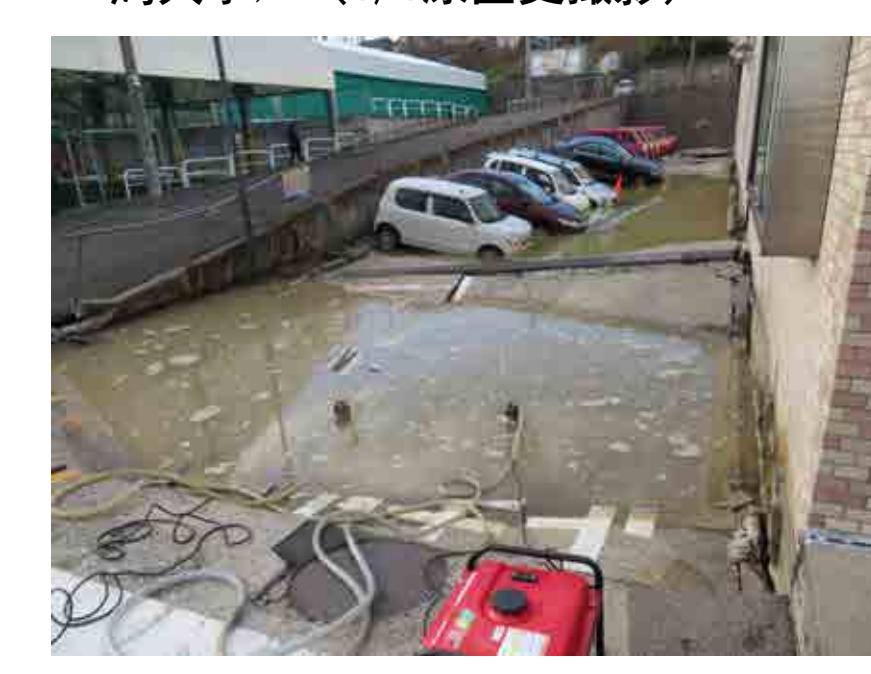
▲液状化現象による噴砂と沈降（1/2片桐昭彦氏撮影）



▲固定釘が抜け倒壊した書架（新潟大学）（1/1原直史撮影）



▲基礎崩壊により倒壊した家屋（小屋）（1/2片桐昭彦氏撮影）



▲液状化現象による沈降と水の噴出（1/2片桐昭彦氏撮影）

Webサイト <http://nrescue.s1006.xrea.com/>

連絡先（事務局）新潟大学人文学部原研究室

hara@human.niigata-u.ac.jp

